

ギリシャで麻疹が流行

2010年7月29日 ProMED 情報 (Eurosurveillance, Volume 15, Issue 30)



ギリシャで1月から麻疹が発生しており、7月25日までで患者126名が報告されています。最初の患者は1月29日に報告されました。これには、最近のブルガリアでの麻疹流行が関連しています。多くの患者は、予防接種を受けておらず、3つの集団に分けられます。すなわちブルガリア国籍のジプシー集団36名(29%)、ギリシャのジプシー集団43名(34%)、ギリシャの一般市民44名(35%)でした。この他に3名が他の国籍(アルバニア、デンマーク、フランス)の患者でした。

126名中78名(62%)は0～14歳の子供で、特に1～4歳が34名(27%)と多数を占めました。ブルガリア国籍の患者の多くは0～14歳の子供で67%、さらに0～4歳は42%でした。ギリシャ国籍のジプシー集団では0～14歳は95%で、半数が0～4歳でした。ギリシャの一般市民では、20歳以上の若い大人が多数(66%)を占めました。

患者106名のうち、93名(88%)は予防接種をしていませんでした。予防接種歴があるのは13名(12%)で、この13名はすべてギリシャ国籍で、なおかつ12名はギリシャの一般市民でした。9名は1回の予防接種が行われていました。患者4名の接種回数は不明でした。

海外渡航歴に関しては、114名中104名(91%)は海外渡航歴がありませんでした。10名(9%)に海外渡航歴があり、そのうち8名(ブルガリア国籍が6名、ギリシャ国籍のジプシーが1名、デンマーク国籍が1名)が最近ブルガリアへ旅行したことがありました。また、フランス国籍1名がフランスへ、別の1名は、行先不明の旅行がありました。

最初の麻疹の集団発生は、ギリシャ南西部のIlia地区(大多数は3つの村で発生し、患者数30名)とクレタ Crete 島(Chania地区から患者6名とHeraklion地区から患者13名、この13名中10名は1つの村)から報告されました。Ilia地区、Chania地区、およびHeraklion地区の集団発生には相互の関連性は全く確認されていません。7月25日現在、明らかな地理的片寄りはなく、麻疹患者はギリシャ52地区のうち21地区から報告されました。集団発生はギリシャのジプシーキャンプ(ギリシャのジプシーキャンプでの8件の集団発生に伴う患者33名)とブルガリア国籍のジプシーが滞在している村(5カ所の村の患者26名)で報告されました。2件の集団発生だけが輸入例と関係がありました。